

パリ国際二輪車展参観報告及び 仏市場における電動自転車の可能性について

フランスにおいてパリ国際二輪車展「Paris International Two-wheel Show」が2007年9月29日(土)～10月2日(月)の4日間に渡り開催された。この展示会は隔年で開催されており、主催者発表によると前回2005年と比べ約20%も出展者、展示面積を増やし、383,487人もの来場者を数える結果となった。

【Paris International Two-wheel Show】

主催：Modial du Deux Roues

会場：Paris Expo（自転車：Hall 3、オートバイ：Hall 1及び2.2）

会期：2007年9月29日(土)～10月2日(火)

開催時間：ビジネス・9/28 9:00～19:00、パブリック・9/29～10/2 10:00～20:00

展示面積：38,000 m²（自転車：9,300 m²、オートバイ：28,700 m²）

入場者数：383,487人(2005：380,000人)

出展社数：自転車：213社/500ブランド、オートバイ：267社/520ブランド



展示会場入口



自転車展 Hall.3 入口付近

1. 展示会概要

同展はオートバイと自転車の二輪車展示会であり、日本のオートバイメーカーを始め世界の最新オートバイ、自転車を目当てに大勢のユーザーが訪れた。自転車関連の出展は展示面積こそオートバイの3分の1でしかないが、出展者数及びブランド数では決して引けを取ってはいなかった。KTM、MBK及びプジョーは自転車・オートバイ双方に小間を持ち、自転車関連企業の集まったホール3の小間はオートバイメーカーに比べれば遥かに小さいが、多種多

様な商品を展示し同ホールも多くの来場者で賑わっていた。



サイクルヨーロッパ



ラピエール



MBK



プジョー

自転車関係の出展者で最大のブースはサイクルヨーロッパで、ジタン、ルノー及びピアンキブランドの自転車を展示していた。その他 MBK、タイム、ルック、ラピエール及びプジョーといった地元フランスメーカーが出展していた。地元フランス以外では、ケルン展(IFMA)には出展しなかった米国ブランドのキャノンデール、スペシャライズド及びトレックもブースを構え、また欧州の KTM、オルベア、スコット、台湾のメリダ、そしてドイツ二輪車共同購入組合(ZEG)もブースを持ち自社ブランド「BULLS」のスポーツ車を展示していた。コルナゴ、ピナレロやサーベロといった高級ロードレーサーも出展しており、この展示会を重視していたことは明らかである。

また部品やアクセサリでもシマノを筆頭に、マビック・アディダス、コリマ、ゼファールの他多くの出展者が参加していた。また、スポーツ車のトップモデルが総じてカーボンフレーム車になっているのと同様に、フレーム以外でもハンドル、ステムやリム・ホイールはカーボン製品の展示が多く見られた。

現在、IFMA 展やミラノ展(EICMA)が低迷状態にある中で、パリ展は EUROBIKE に次ぐ欧州自転車展として第2位の地位を目指し、新たな一歩を踏み出したといえる。パリという大都市

の中心部で開催され多数の動員力を誇る展示会として確実に力をつけ、それに従い各メディアからの注目も増し、今年は48カ国から2,592名の報道関係者が来場した。またパリ市当局が市内の交通渋滞緩和のためにレンタサイクルシステムを今年7月に開始したばかりで、公共交通機関として自転車に注目していることも追い風となっている。会場にはレンタサイクル「Velib」の広報宣伝ブースも出品され利用者に向けた宣伝活動に余念が無かった。

次回は、2009年9月26日～10月4日、同会場にて開催予定となっている。



米国ブランドはパリを選んだ（キャンノンデール、スペシャライズド）

2. 電動アシスト自転車の販売について

フランス二輪車工業会によると、フランスの2006年の国内販売台数は350万台（全車種）と欧州主要国の中でドイツに次ぎ多く、オランダ、イタリアが続いている。しかし、平均販売価格では2006年は235ユーロと、ドイツ、オランダ及びイタリアと比べて低い金額である。フランスでは自転車専門小売店より大型スポーツチェーンの販売シェアが高く、廉価なものが販売されているためである。

この傾向が続く中、付加価値の高い車種として電動アシスト自転車に期待が集まっている。同車種の2006年販売台数は6,000台と2005年3,900台に比べれば順調に伸びているが、合計350万台の販売数から見れば他車種と比べてもまだ僅かな数値にすぎない。

2006年 欧州4カ国の国内販売台数と平均販売価格

	ドイツ	フランス	オランダ	イタリア
国内販売台数（単位：万台）	445	350	132	194
平均販売価格（単位：ユーロ）	345	235	582	310

「Bike Europe」ウェブ・ニュース No. 2521 では、フランス大手スーパーのカルフルが電動アシスト自転車の販売を開始し、2007年既に 30,000 台を販売したと報じている。大手量販店が販売することにより、電動アシスト自転車の認知度が高まり、自転車専門小売店での販売にも拍車がかかることも予想され、電動アシスト自転車はこれからブームに乗れるかどうかの岐路に立っている。同工業会でも高付加価値の車種として電動アシスト自転車に期待しており、販売動向の推移に注目している。



電動アシスト自転車（ジタン）

以上

（デュッセルドルフ事務所）